

創徳中学校通信



防災学習の日を考える

2011年3月11日14時46分、宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生しました。これにより東北地方を中心に北関東にも被害が及び、地震による揺れの被害のみならず、大津波、火災などで2万2000人余の死者・行方不明者が発生しました。

当時、私は神戸中学校に勤めていました。ちょうど掃除の時間だったと思います。エレベーターに乗っているような不思議な感覚でこの揺れを感じたのを覚えています。

鈴鹿市ではこの日を「防災学習の日」と定め、市内全小中学校で防災学習を行います。(本年度は11日が土曜日のため10日に実施)本校においても6時間目に避難訓練と防災ノートを活用して防災学習を行いました。

避難訓練の講評の中で「被災した人々が困難な状況の中でも秩序を守り冷静に行動している日本人の姿」を海外メディアが伝え、世界にその行動、意識が高く評価された話をしました。

もう一つ伝えたいことがあります。それは、「身近な人に優しい心をもって接していますか?」ということです。人は遠くで起こった災害や戦争・紛争によって苦しい生活を余儀なくされている人には励ましの言葉や募金などを通して優しさを形にして支援しますが、身近な人に対しては周囲の目や気恥ずかしさもあってか、どちらかと言えば消極的です。遠くの人に思いを寄せるのと同じように、身近な人にも目を向け、優しい気持ちで見守り、接することができれば、みんなが過ごしやすい環境を作ることができるのではないのでしょうか。

私にとって東日本大震災は上記のことのみならず、生きたくても生きることができなかった人たち。愛する故郷を離れ、友達と別れることを余儀なくされた人たち。そのような状況下でも希望をもって歩み続ける人たち。日常の幸せなど、様々な人の思いを知ることができました。

4月には、それぞれ学年が上がり、新たなスタートを切ります。令和5年度があなた達にとって充実した日々であってほしいと願っています。そのためにも「防災学習の日」が、より良い人間関係を築くにはどうすべきかを考える機会になればと思いました。



卒業生のみなさん 感動の卒業式をありがとうございました

3月7日(火)に第39回の卒業証書授与式が行われました。担任の先生を先頭に卒業生が保護者、来賓、在校生、職員の大きな拍手に迎えられの中を入場して式が始まりました。卒業証書授与の段になり、担任の先生が生徒一人ひとりの名を読み上げると、ビシッと起立し「はい!」という大きな声での返事は3年生の成長を感じました。

卒業生代表として望月吾朗さんに卒業証書を授与しました。私からの式辞、来賓の方の祝辞の後、西村歩夏さんの送辞と勝田翔万さんの答辞は涙を誘う素敵な内容でした。そして、式歌「春風の中で」「正解」を歌う場面になって、式は最高潮を迎え厳粛な中にも感動あふれる素晴らしい卒業式となりました。卒業生のみなさんの未来に幸多からんことを祈っています。



令和5年度前期生徒会役員選挙が行われました

3月15日(水)に令和5年度前期生徒会役員選挙が行われました。今回の選挙で目を見張ったのが立候補者の多さです。つまり、多くの人がチャレンジャーとして名乗りを上げてくれたということです。ありがとうございます。結果は以下になりましたが当選した人もそうでなかった人も思いは同じはずです。創徳中を良くしていくために力を貸してください。よろしくお願いいたします。

【会長】西村 歩夏 【副会長】與那 和

【執行委員】椿山あさひ 内堀 結翔 鈴木 真姫 大西 莉聖



魔法の言葉「ありがとう」

1月の中頃、三重の子ども応援プロジェクト第14回「ありがとうの一行詩コンクール」の審査結果が届き、本校から池田梓さん、谷口うたさん、水野結月さん、黒住啓人さん、木村実祈さん、田中沙季さんの5名の作品が選ばれました。友達への感謝の気持ちを表した作品が多い中、一つだけ地域の方へ気持ちを伝えたものがあつたので紹介します。

(地域の人へ) 学校へ行くときに、いつもいってらっしゃい。帰ってきたら、おかえりといってくれる。いってらっしゃいやおかえりは家族だけが言うものだと思っていた。いつもあたたかな言葉をありがとう

私が言われたわけではありませんが、「ありがとう」の言葉を聞くと心が温かくなります。